

# 子育て専門支援員の配置と出産祝金を創設できないか

## 祝金制度は今後の検討課題である



児玉 孝徳 議員

子育ての不安や負担を取り除く環境を整えることで、出生数増加が期待できるが、本町の少子化と結婚を応援する対策の現状はどうか。

### 独自の支援を実施

町長

結婚応援対策	少子化対策
婚活イベント開催	不妊治療費の助成枠拡大
家賃3万円を超える賃貸住宅に入居している場合、月額1万円(上限金額)の家賃補助(転入世帯および新婚世帯が町内の賃貸住宅に入居した場合)	出産祝品の配布
町営住宅の家賃低廉化	ブックスタート事業
	チャイルドシート無料貸出
	学校給食費助成
	中学校入学時3万円助成
	子ども医療費18歳まで無料化

### 子育て専門支援員の配置と助成金等の考えは

児玉議員

全ての子育てに関する悩みや不安を解消できるよう、有資格者の専門職員の配置は出来ないか。また、少子化の原因の一つは、子育ての経済的負担が大きいことから、3人目以降の子どもに祝金や子育ての助成金等考えられないか。

### 貴重な提言として協議する

町長

全てを相談できる職員の配置は検討していないので今後協議する。祝金については、保育所等に3人目以降の保育料の軽減措置などを行っている。祝金の創設については、今後検討する課題である。

### 子育て支援の優良事業所へ奨励金や表彰を

児玉議員

子育て支援推進のため、町内の職場を訪問し、子育てしやすい職場環境づくりを働きかけ、取り組んだ中小企業に対し奨励金の支給や、表彰はできないか。

### 表彰対象判断が困難

町長

本町の企業は事業形態に応じて三者三様の状況にあるので表彰対象の判断が困難になることから、慎重に検討の判断をする。本町の地域おこし協力隊員の成果を示せ

児玉議員

本町の地域おこし協力隊の基本的なコンセプトは何か。また、活動の成果はどうか。

### 情報発信に一定の成果がみられた

町長

本町のコンセプトは、地方創生に資する人材の確保であり、募集の際に学習支援や空き店舗の活用など、具体的な業務内容を示している。活動成果は、イベントの開催やKKBふるさとCM大賞で積極的な情報発信に努め、町村会会長賞を受賞し放送枠を獲得するなど、情報発信に一定の効果があつた。また、町内中学校において児童・生徒の基礎学力定着のため補助教員として活動している。

### 勤務体制の見直しで成果を上げる体制を

児玉議員

長島町の隊員は、農家・漁業関係者や商店街を訪ね、商品開発や問題点のアドバイス、一緒に企画から運営までを行って売れないものは作らないと



地域おこし協力隊の活動状況

### 協力隊員の報告会開催と今後の方向性は

児玉議員

町民は協力隊員の活動内容を知る機会が少ないので、報告会を開催してはどうか。今後、人材発掘と育成のプログラム作りが大切だと思うが、どのような方向性を考えているのか。

### 早急に開催し、今後は募集要項の業務が主

町長

報告会は町民と交流する機会が必要と感じているので、早急に開催する。今後は、有明高校跡地のスポーツ合宿拠点施設の合宿誘致など、募集要項に示した業務を達成する事が主で、広く地方創生に資する活動に取り組むよう、地域とのネットワークづくりや研修を進め、町民の協力を得ながら定住を見据えた具体的な目標の設定と、更なる地域おこしに取組む。

### 柔軟な勤務体制に配慮する

町長

活動を行っていくに当たり必要に応じた柔軟な勤務体制を取るなど配慮している。副業は、本来の業務に影響を及ぼさなければ特に禁じていない。